

手指の動きの教材

～本校での自立活動の実践より～

今回は、本校の重複障がい学級が自立活動で行っている微細運動の発達を促す教材を紹介します。指先や手のひら全体の動きを高める、腕の力をつけるなど、課題は様々です。日常生活での困難さを軽減していけるよう、個々の課題に合わせて教材を作り、日々取り組んでいます。繰り返し取り組むことで、少しずつ力がつき、生活力の向上に繋がっています。



鼻の穴に手を入れて布をつかみ、引き出す。



先に鈴をつけ、音で興味を引く。



大好きな絵本の紐通し。



ビーズの数と数字の対応。

☆通そう、引こう、数えよう☆

この教材は箱型の立体になっており、6面全て違う動作ができます。ジッパー、紐通し、数を数える、布を引き出すというように、指先を使って小さなものをつまむ小さな動作から、手のひら全体でつかんで腕の力でぐっと引き出す大きな動作まで、学級の様々な児童の実態に合わせて工夫しています。本人の好きな絵本にちなんだものや、はっきりとした色を使ったものにする事で関心を引くことができ、目と手の協応動作に繋がります。

- ねらい
- 指先の力をつける
 - 手元を見る

- 材料
- 布
 - フェルト
 - 箱 (フェルトで覆う)
 - ジッパー
 - ひも
 - 鈴
 - ボンド



長い

短い

☆キャップの開け閉め☆

キャップ回しは、親指と人差し指でぐっと摘まむ力を付けた後、手首をひねりながら回すことで、手首の動かし方が分かったりするようになります。この教材は、ひねる動作が苦手な児童のために、縦につなげた様々な長さのキャップを用意しています。初めは長いもので握ったり両手を使ったりして開け閉めをし、次第にキャップを短くしていくことで、指先と手首を自然に連動して動かせるようになることをねらっています。

- ねらい
- 手首の動かし方を知る
 - 指先の力を付ける
 - 手元を見る

- 材料
- ペットボトル
 - フェルト
 - キャップ
 - 箱
 - ビニールテープ

100均の透明ケースが使いやすい。



箱に入ったキャップの写真

☆目と手の協応動作☆

この教材は2種類の動作ができます。①小さく区切られたケースにキャップを入れ、親指と人差し指で摘まんで取り出す。②キャップの写真をケースの下に敷き、透かして見える柄と同じキャップを置く。また、箱に入れる際に、キャップを裏返すと取り出しやすく、通常の向きでは取り出しにくくなるので、実態に応じて負荷をかけることができます。

- ねらい
- 手元を見る
 - 対応するものに気付く

- 材料
- 蓋付容器
 - ペットボトルのキャップ

児童が楽しんで活動ができるよう、実態を把握して教材を工夫しています。

